

日本語スピーチコンテスト（原稿）

皆さんこんにちは。福島東稜高校1年の村田桜花です。私は日本人とフィリピン人のハーフです。2023年3月に日本に来ました。それまで人生のほとんどをフィリピンで過ごしましたが、今は福島県二本松市に住んでいます。今日、私が言いたいことは、福島の美しさと文化の豊かさです。景色、音、匂いとすべてがフィリピンと違って、福島の美しい自然に、今まで感じたことのない興奮と驚きを感じ、とても魅力的だと思いました。

日本に来るとき、私は日本人とうまくやっていけるか、とても緊張して来たのですが、実際に福島の人と会って話すと、その緊張はなくなりました。福島の皆さんは、私が今まで会った人の中で一番優しい人たちです。最初は、日本に来て友だちができるか、いじめられるのではないかと、とても心配でしたが、みんな私を歓迎してくれて、私もここの一員なんだと感ずることができました。また、日本に来たばかりのころは、日本語のあいさつやひらがなができませんでした。「言語の壁」をとて感じました。でも、私に日本語を教えてくれる先生たちは、とてもやさしくてわかりやすく教えてくれました。クラスメイトたちもとても親切に接してくれました。だから、私の日本語はとても早く上達することができました。とても感謝しています。

私は、日本に来てから、たくさんのことを経験しました。とくに大きかった出来事は、「福島しあわせを運べるように合唱団」に参加したことでした。この合唱団は、東日本大震災の後、二本松で生まれました。私は、震災のことはよくわかりませんでした。でも、地震や津波で亡くなった人がたくさんいて、自分の家を離れて暮らしている人もたくさんいることを知って、自分にもなにかができるかもしれない、歌をうたうことで元気になってくれるかもしれないと思いました。神戸・新潟、そして浪江町でうたうことができました。これらの経験は、今まで恥ずかしがり屋だった自分を大きく成長させました。

「しあわせ」という言葉は、とても美しい日本語だと思います。英語でいうと「happiness」「happy」ですが、「happy」では言い表せない感じがします。私は、この美しい日本語をもっともっと学びたいと思います。福の島という幸福を運べるこの場所で、私も、みんなも幸福になれるようにこれからも頑張っていきたいと思います。ここまで私が成長できたのは、福島の人たちのおかげです。本当にありがとうございました。

ご清聴ありがとうございました。